

北鹿の学び舎から

2021-2022

OB、在校生、学校の今 ⑬

2021コラム連載を終えて

秋田職業能力開発短期大学校

校長 後藤 康孝

人は、なぜ学ぶのでしょうか。それは、生きるため、成長するために備わった、人間としての進化の結実であると思えます。学ぶことで「わかる」「そして「できる」を体験すると、楽しい、嬉しいという心地よい感情を褒美として

与えられ、学びを継続させるように仕組みられているものと考えます。今回、ご紹介した卒業生の皆さんも様々な形で学びを継続し、個人としての成長に留まらず、企業等の組織としての知財に、そして地域、社会としての智慧に結びつける、

現在、国の重要施策として、

人間社会としての学びを体現しておられました。

今回のコラムの初回に「職業人としての真の生きる術は、この学び続ける姿勢とそれ考へ抜く力である」と考へており、(中略)当大学校では、その習得の促進を図っています。」と述べましたが、それを卒業生の皆さんに証明していただいた形になり誇らしく思っています。

当大学校でも、技能・技術の習得を目的とした短期間の「能力開発セミナー」を年間50コースほど展開し社会人の学びを支援しています。また、大館市も「大館学び大学」という新たな社会人教育システムを運営し始めています。学びは人間の本能です。読者の皆さん、積極的な活用をお勧めいたします。



校長 阿部 等

秋田県立鷹巣技術専門学校(テクノスクール鷹巣)

今年度のコラム「北鹿の学び舎から」では、本校からは自動車整備科、住宅建築科、建設機械運転科の3名の修了生の方々を紹介させていただきました。

ただけだと思えます。さて、本県は人口減少・少子高齢化が全国よりも速いペースで進んでおり、県内企業が持続的な発展を遂げるためには、それを支える人材の育成が不可欠となります。

また、デジタル化が急速に進んでおり、IoTやAI等の先進技術は、あらゆる産業においてニーズが高まると予想されます。

こうした状況を踏まえ、第1回のコラムでご案内いたしましたとおり、県立技術専門学校では、第11次秋田県職業能力開発計画に基づき、定員の見直しや訓練科の再編とともに、先進技術分野の知識や技術を学ぶためのカリキュラムを取り入れ、令和4年度から新たにスタートすることになりました。

また、各訓練科では、先進技術や資格取得に関する新たな訓練カリキュラムを追加して時代のニーズに対応することとしています。

県立技術専門学校では、今後とも秋田の産業を支える人材を育成するとともに、地域の皆様と連携した様々な事業に取り組みまいりますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。

